

令和 5 年度 九州看護福祉大学

授業評価アンケート結果 報告書



九州看護福祉大学
自己点検・自己評価委員会

～目次～

1. 令和5年度授業評価アンケートの概要・・・・・・・・・・	1
2. 授業評価アンケート結果・・・・・・・・・・	3
3. 授業に関する自己点検・自己評価・・・・・・・・・・	7
4. 「個人報告書における改善計画」（個人報告書から一部を抜粋）・・・	8
5. 謝辞・・・・・・・・・・	9

1. 令和5年度 授業評価アンケートの概要

1) 実施の目的と方法

令和5年度授業評価アンケートは、自己点検・自己評価委員会が作成し、授業に対する学生の評価、意見を聴取し、その結果を授業内容にフィードバックし、教育方法の改善を図ることを目的として実施された。評価対象科目は、卒業・研究論文、演習科目、実習科目、履修登録者数が10人未満の科目を除く令和5年度の開講科目とした。

アンケート調査は、表1の7つの分野について行われた。

表1. アンケート調査の7分野

内容
1. あなたの授業態度について
2. 授業内容について
3. 教員の教え方について
4. 教員の姿勢について
5. 総合評価について
6. 担当教員のオリジナル設問
7. 自由記入

アンケート調査は、学務情報処理システム・Campus Square を用いて行われた。調査は、科目責任者が、学生の成績評価には影響しないことを説明したうえで、無記名で実施された。実施時期は、第1学期の前半科目が令和5年5月29日（月）から6月20日（火）、第1学期科目及び後半科目が令和5年7月20日（木）から8月10日（木）までの間、第2学期の前半科目が令和5年10月25日（水）から11月22日（水）、2学期科目及び後半科

目が令和6年1月10日（水）から2月6日（火）までの間であった。

調査票の概要は表2の通りである。

表2. 調査票の概要

【A. 設問内容】	
1.	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。
2.	この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。
3.	この授業に臨んだあなたの授業態度は、よかったと思いますか。
4.	あなたの私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。
5.	あなたの途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけましたか。
6.	この授業に興味・関心がもてましたか。
7.	この授業をよく理解できましたか。
8.	この授業は、あなたにとって有益（効果的）でしたか。
9.	この授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。
10.	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。
11.	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったですか。
12.	教員の教材（教科書、視聴覚教材、配布プリント）の使い方は、適切でしたか。
13.	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。
14.	教員は、授業時間をよく守っていましたか。
15.	教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。
16.	教員は、学生の理解度が高まるように工夫して授業を行いましたか。
17.	教員は、私語や途中の入退出に対して適切に対処しましたか。
18.	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。
19.	担当教員のオリジナル設問1
20.	担当教員のオリジナル設問2
21.	自由記入欄
【B. 回答方法】	
設問1：①3時間以上、②2.5時間、③2時間、④1時間、⑤30分未満、の5つの選択肢から一つだけを選択。	
設問2～20：①全くそう思う、②そう思う、③どちらともいえない ④そう思わない、⑤まったくそう思わない、の5つの選択肢から一つだけを選択。	
設問21：自由記入	

2) 分析方法

各質問項目の選択肢には、表 3 のようなスコアを設定した。

表 3. 選択肢のスコアリング法

設問 2～18	設問 1	スコア
① まったくそう思う	① 3 時間以上	5
② そう思う	② 2.5 時間	4
③ どちらともいえない	③ 2 時間	3
④ そう思わない	④ 1 時間	2
⑤ まったくそう思わない	⑤ 30 分未満	1

設問 19 と 20 は任意の設問のため、全体の集計からは除外した。また、設問 21 は、自由記入であり数値としての処理が困難なため、同様に全体の集計からは除外した。データは学科、学年ごと及び学部全体で集計した。「2. 授業評価アンケート結果」の各表内の数値は、すべて小数点第 1 位までの平均値で表記した。

2. 授業評価アンケート結果

1) 実施状況

授業評価アンケートの実施状況は、表 4、5 の通りである。

表 4. 授業評価アンケートの実施状況（第 1 学期）

学科	実施 科目数	実施科目の履修 登録者数(人)	回答者数 (人)	回答率(回答者数/実施 科目の登録者数、%)
看護学科科目	47	3,925	2,049	52%
社会福祉学科科目	47	1,997	902	45%
リハビリテーション学科科目	31	1,506	861	57%
鍼灸スポーツ学科科目	38	773	575	74%
口腔保健学科科目	46	899	576	64%
学部全体	209	9,100	4,963	55%

表 5. 授業評価アンケートの実施状況（第 2 学期）

学科	実施 科目数	実施科目の履修 登録者数(人)	回答者数 (人)	回答率(回答者数/実施 科目の登録者数、%)
看護学科科目	39	2,662	799	30.0%

社会福祉学科科目	47	1,780	863	48.5%
リハビリテーション学科科目	25	1,265	888	70.2%
鍼灸スポーツ学科科目	31	620	381	61.5%
口腔保健学科科目	34	568	355	62.5%
学部全体	176	6,895	3,286	47.7%

2) アンケート結果

アンケートの結果は、表 6 から 9 の通りである。

表 6. 学部、学科別のアンケート結果（第 1 学期分）

番号	設問内容	学部全体	看護	社会福祉	リハビリテーション	鍼灸スポーツ	口腔保健
1	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	1.7	1.9	1.5	1.7	1.9	1.7
2	この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.3
3	あなたの授業態度は、よかったと思いますか。	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.4
4	私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。	4.7	4.8	4.6	4.5	4.6	4.8
5	途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけましたか。	4.7	4.8	4.7	4.6	4.8	4.8
6	この授業に興味・関心がもてましたか。	4.1	4.0	4.2	4.1	4.2	4.3
7	この授業をよく理解できましたか。	3.9	3.8	3.9	3.9	4.0	4.1
8	この授業は、あなたにとって有益（効果的）でしたか。	4.2	4.1	4.3	4.2	4.3	4.4
9	授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	4.2	4.0	4.2	4.2	4.3	4.4
10	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。	4.3	4.1	4.3	4.3	4.3	4.4
11	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったか。	4.2	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3
12	教員の教材の使い方は、適切でしたか。	4.3	4.1	4.4	4.2	4.4	4.4
13	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	4.1	3.9	4.1	4.2	4.3	4.4
14	教員は、授業時間をよく守っていましたか。	4.5	4.4	4.6	4.5	4.5	4.6
15	教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。	4.4	4.3	4.5	4.4	4.5	4.5
16	授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	4.2	4.0	4.3	4.3	4.3	4.4
17	教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	4.2	4.0	4.2	4.4	4.4	4.4
18	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	4.2	4.0	4.3	4.2	4.3	4.4

表 7. 学年別のアンケート結果(第 1 学期分)

番号	設問内容	1年	2年	3年	4年
1	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	1.7	1.8	1.7	1.8
2	この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。	4.0	4.3	4.1	3.9
3	あなたの授業態度は、よかったと思いますか。	4.2	4.4	4.2	4.0
4	私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。	4.6	4.7	4.6	4.5
5	途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけましたか。	4.8	4.7	4.6	4.6
6	この授業に興味・関心がもてましたか。	4.0	4.3	4.1	3.9
7	この授業をよく理解できましたか。	3.8	4.1	3.9	3.7
8	この授業は、あなたにとって有益(効果的)でしたか。	4.1	4.4	4.2	4.1
9	この授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	4.1	4.4	4.3	4.0
10	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。	4.2	4.4	4.3	4.1
11	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったですか。	4.1	4.4	4.3	4.0
12	教員の教材の使い方は、適切でしたか。	4.2	4.4	4.3	4.0
13	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	4.0	4.4	4.3	4.0
14	教員は、授業時間をよく守っていましたか。	4.4	4.6	4.5	4.3
15	教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。	4.3	4.5	4.5	4.4
16	授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	4.1	4.4	4.3	4.1
17	教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	4.1	4.4	4.4	4.1
18	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	4.1	4.4	4.2	4.1

表 8. 学部、学科別のアンケート結果(第 2 学期分)

番号	設問内容	学部全体	看護	社会福祉	リハビリテーション	鍼灸スポーツ	口腔保健
1	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	3.2	1.9	2.1	2.1	2.1	1.9
2	この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。	3.7	4.3	4.2	4.2	4.2	2.9
3	あなたの授業態度は、よかったと思いますか。	3.7	4.4	4.4	4.4	4.4	2.9
4	私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。	3.9	4.8	4.6	4.6	4.7	4.3
5	途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけましたか。	3.9	4.9	4.7	4.7	4.7	4.4
6	この授業に興味・関心がもてましたか。	3.7	4.3	4.3	4.3	4.4	2.8
7	この授業をよく理解できましたか。	3.5	4.0	4.1	4.1	4.2	2.5
8	この授業は、あなたにとって有益(効果的)でしたか。	3.7	4.3	4.3	4.3	4.4	2.8

9	授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	3.7	4.3	4.3	4.3	4.4	2.7
10	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。	3.7	4.3	4.4	4.4	4.4	2.9
11	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったか。	3.7	4.3	4.4	4.4	4.5	3.1
12	教員の教材の使い方は、適切でしたか。	3.7	4.3	4.3	4.3	4.5	2.9
13	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	3.7	4.3	4.3	4.3	4.4	3.0
14	教員は、授業時間をよく守っていましたか。	3.8	4.5	4.5	4.5	4.6	3.2
15	教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。	3.8	4.5	4.4	4.4	4.6	3.2
16	授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	3.7	4.3	4.3	4.3	4.5	3.0
17	教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	3.7	4.3	4.4	4.4	4.4	3.3
18	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	3.7	4.3	4.3	4.3	4.5	2.8

表 9. 学年別のアンケート結果(第 2 学期分)

番号	設問内容	1 年	2 年	3 年	4 年
1	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	3.1	1.8	1.8	1.7
2	この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。	4.1	4.2	4.3	4.4
3	あなたの授業態度は、よかったと思いますか。	4.1	4.3	4.4	4.6
4	私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。	4.4	4.7	4.8	4.9
5	途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけましたか。	4.4	4.8	4.8	4.8
6	この授業に興味・関心がもてましたか。	4.1	4.2	4.3	4.4
7	この授業をよく理解できましたか。	3.9	4.0	4.1	4.0
8	この授業は、あなたにとって有益(効果的)でしたか。	4.1	4.3	4.4	4.5
9	この授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	4.1	4.3	4.4	4.5
10	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。	4.1	4.3	4.4	4.5
11	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったですか。	4.1	4.3	4.5	4.5
12	教員の教材の使い方は、適切でしたか。	4.1	4.3	4.4	4.5
13	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	4.1	4.2	4.4	4.4
14	教員は、授業時間をよく守っていましたか。	4.2	4.5	4.6	4.7
15	教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。	4.2	4.5	4.6	4.8
16	授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	4.1	4.3	4.4	4.5
17	教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	4.1	4.3	4.4	4.5
18	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	4.1	4.2	4.4	4.5

3. 授業に関する自己点検・自己評価

1) 「授業に関する個人報告書」について

科目責任者は、授業評価アンケートの結果に基づき、授業科目ごとに「授業に関する個人報告書」（以下、「個人報告書」）を作成して、所定の期日までに教務課に提出し、同報告書は教務課で一括して保管されている。

科目責任者は、この「個人報告書」に基づいて授業改善の方策を立案し、それぞれ改善策を講じている。「個人報告書」の概要は表 10 の通りで、分量は A4 版で数ページである。

表 10. 「授業に関する個人報告書」の概要

令和 年度 第 学期 授業に関する個人報告書
A. 概要
1. 報告者氏名：
2. 授業評価実施日
3. 科 目 名
4. 学 科 名
5. 登 録 学 生 数
6. 科 目 責 任 者 名
B. 自己点検・自己評価（400 字以内）
C. 改善課題（200 字以内）
D. 改善計画（200 字以内）

2) 「個人報告書」の提出状況について

「個人報告書」の提出状況は、表 11、12 の通りである。

表 11. 「個人報告書」の提出状況（第 1 学期分）

学科	対象科目数	提出科目数	提出率(%)
看護学科科目	17	13	76.5%
社会福祉学科科目	26	12	46.2%
リハビリテーション学科科目	18	9	50.0%
鍼灸スポーツ学科科目	19	2	10.5%
口腔保健学科科目	17	11	64.7%
学部全体	97	47	48.5%

表 12. 「個人報告書」の提出状況（第 2 学期分）

学科	対象科目数	提出科目数	提出率(%)
看護学科科目	39	22	56.4%
社会福祉学科科目	46	9	19.6%
リハビリテーション学科科目	24	8	33.3%
鍼灸スポーツ学科科目	31	10	32.3%
口腔保健学科科目	34	16	47.1%
学部全体	174	65	37.4%

4. 「個人報告書における改善計画」（個人報告書から一部を抜粋）

「令和 5 年度授業に関する個人報告書」には、授業に関する改善課題と改善計画の項目があり、各教員は次期の授業に向け学修指導の改善の方法を記載している。これらは 次年度のシラバス作成、教科書選択、学生の理解に即した授業計画立案などに利用されており、自らの教育内容に効果的なフィードバックとなっている。令和 5 年度の個人報告書には、授業の改善計画として次のような記載があった（表 13、14）。

表 13. 【第 1 学期個人報告書からの抜粋】

NO	改善課題と改善計画
1	授業内容について各回で内容の量に偏りがあった。再度見直して各回とも学生が理解しやすい内容量とする。
2	講義資料の文字の大きさを見やすくする。講義内容に即した DVD や視聴覚機材を準備し、学生がより具体的に理解できるように工夫する。講義内で学生とのディスカッションを取り入れ、学生自身が考えを表現できる時間を設ける。
3	予習復習にむすびつく課題や資料の掲示等の工夫を行い、必要な知識の獲得につなげる
4	集合知の形成方法や体系化を感得すること、教科書だけでは学べない、各自が目指す進路や福祉現場に必要な知識や技能を探究するように導きたいと思います。
5	初めて聞くような専門用語、疾患が多いため、難しいと感じている学生も少なくない。教科書とスライドに加えて学習のポイントが分かるようなプリントの配布も検討する。
6	学生が本授業の予習や復習にあてる時間が例年並みに少ないことがわかる。授業理解の促進、授業で新たに得た知識の定着の観点から、予習および復習といった自己学習時間の延長を促す必要がある。
7	教育手法を更に充実させ、学生のモチベーションを高めていきたい。

8	配布した資料を学習者がアレンジして保管・管理できるよう全てを PDF で掲示するのではなく、場合によっては Word や Excel で掲示配布することで、学習者が自分の使いやすいように順番の並び替え、色付け、強調等の加工ができるように配慮する。
9	教材の事前配布と課題設定を行い、配布資料を基に講義中に復習を兼ねて発言の機会を設けるなどに取り組む価値はあるが、多数の受講者に対して、質疑応答の時間を設けながらも、講義内容も網羅しつつ参加機会をどのように設けるかその仕組み作りは今後の課題である。
10	未定着の専門用語や知識により理解に悩んでいる一面もあるので、一般的用語等でも説明し、理解を助けることで、学習意欲の喚起・維持に努める

表 14. 【第 2 学期個人報告書からの抜粋】

NO	改善課題と改善計画
1	必要な知識を覚えさせることに重きをおき、知識の定着にいたっていない。国家試験や臨床における知識としては不十分であるため、学生たちの興味関心が継続できる講義内容へ改善していく。
2	課題の多さが学生の不満につながったため、授業内容の見直し及び課題の再考を行う。
3	映像教材等を活用しながら実施する際、一方向の授業となるため、学生が主体的に取り組むことができる授業展開とする。
4	授業スピードが速く感じる学生が多かった。授業で扱う課題は学生が幅広い視点で物事を考えられる内容としていく。
5	専門用語が多く、難しい内容であるが定着するように課題等で対応していきたい
6	授業理解に苦労している学生が多いことが分かったので、レポートや小テストを実施し、進捗を適宜調整したい。
7	内容が多岐にわたり、授業時間のバランスのとり方に難渋した。授業時間を確保するために、予習で必要な内容を Campus Square に掲示し、予習の時間と質を担保する。
8	自ら学習をするように向けていく工夫がさらに必要である。
9	ゆっくりとした進行および明瞭な発声ならびに音響設備の適切な使用に配慮した講義を行う
10	予習・復習の時間が足りてないため積極的に促す声かけを行いたい。
11	授業の導入用の動画の内容をより充実させ学生のモチベーションを高めたい。
12	小テストからの定期試験の学習は、復習しやすいと思われる。
13	次期学習指導要領の動向を踏まえ、大学でも学んでもらえるよう努める。
14	学習に取り組む学生と、全く学習しない学生の二極化が顕著になった。

5. 謝辞

令和5年度第1学期、第2学期の授業評価アンケート実施において、ご協力いただいた本学学生の皆様に深謝申し上げます。

令和 5 年度 九州看護福祉大学授業評価アンケート結果報告書

発行日：令和 6 年 6 月 5 日

発行者：九州看護福祉大学 自己点検・自己評価委員会

〒865-0062 熊本県玉名市富尾 888 番地

TEL：0968-75-1800